

## 第264回教員会議・第164回研究科委員会 議事要録

日時：平成30年3月5日（月）9：30～12：40

場所：後援募金記念棟 会議室1-2

議題

### ◆教員会議◆

#### [審議事項]

##### 1. 学類長

###### (1) 特任教員の任用について

資料1に基づき、学長裁量経費を用いて特任教員を継続任用することが提案され、了承された。

###### (2) 寄附講座の特任教員の任用について

資料2および回収資料により再生可能エネルギー寄附講座教員の平成29年度の業績等が紹介され、4名の特任教員の継続任用が了承された。研究費の状況についての質問があり、寄附講座運営委員長より、多数・多額の外部資金を獲得しており、奨学寄附金からの研究費支出は当初見込みよりも少ない旨の回答があった。

###### (3) 教員の後任人事について

専攻長3名を加えた学類人事委員会で検討した結果として、経営システム工学分野の教員を平成31年4月に採用することが提案され、了承された。職位は准教授を想定している。環境・エネルギー・統計・数理といった学類のニーズに貢献できることが望まれている。

理工系として実験を行なう方が必要ではないかという発言があった。サービス工学という視点も加味して欲しいという要望があった。

今後、募集要項などを具体化させる必要があるが、産業システム工学専攻長に原案作成を依頼することも了承された。

###### (4) 新組織の名称等について

資料3に基づき、改組後の新組織の名称と組織の役割（基本）および移行期の運営イメージが説明され、大学院博士後期課程の領域名を除き、了承された。今後、学内諸規則との対応を確認し、英文名称を検討し決定する。領域名については将来構想検討委員会で引き続き検討することとした。

###### (5) 平成30年度各種委員会委員名簿（案）について

資料4に基づき、委員会名簿（案）が説明された。大学院委員会を休止させコース制移行準備チームを新設したことが主な変更点であるとの補足があった。数点の指摘事項があり、個別に検討するとの回答があった。3月6日を目途に気がついた点を学類長および評議員に寄せるよう要請があった。次回3月14日の教員会議に修正版を再提案し、3月中に確定させる予定である。

## 2. 入学試験委員会

### (1) 平成30年度一般選抜（前期日程）の合否判定について

回収資料に基づき、合否判定を行なった。定員80名に対し志願者181名・受験者173名であり、辞退率なども考慮して96名を合格とすることが提案され、了承された。

合格者の56.3%が福島県内出身であること、男性72名・女性24名であることなど、情報提供された。

## 3. カリキュラム検討委員会

### (1) 平成31年度からの新カリキュラムについて（継続審議）

資料5に基づき、コース制導入後の学類および大学院の履修基準表が提案された。大学院の特論を基礎領域と発展領域に区分する必要があるのかという質問がなされ、区分することのメリット・デメリットが示され、提案通りに決定した。

## 4. 学生生活委員会

### (1) 平成29年度授業料未納者及び除籍について

資料6に基づき、現時点での未納の状況が報告され、期限までに納入されない場合の処置が提案されて了承された。該当学生の指導教員には個別に連絡が入ることになっている。

### (2) 3月卒業・修了学生の表彰の推薦について

資料7に基づき、表彰者を推薦することが提案され了承された。

## 5. 奨学寄附金等の受入れについて

資料が投影され、奨学寄附金1件と受託事業1件が報告された。

## 6. その他

教務委員長より、シラバスの未登録が学類・大学院でそれぞれ約100件あるため、大至急登録するよう要請があった。確定ボタンの操作忘れのケースも多発しているため、各自で確認する必要がある。数日後になっても未登録の場合は個別連絡（督促）が行なわれる。

## ◆研究科委員会◆

### [審議事項]

## 1. 入学試験委員会

### (1) 平成30年度大学院入試（3次募集）の合否判定について

回収資料に基づき合否判定が行なわれ、博士前期課程2名（一般1名・外国人1名）および博士後期課程1名（社会人）を合格とすることが提案され、了承された。

## 2. 学生生活委員会

### (1) 平成29年度授業料未納者及び除籍について

資料6に基づき、現時点での未納の状況が報告され、期間までに納入されない場合の処置が提案されて了承された。該当院生の指導教員には個別に連絡が入ること

なっている。

(2) 3月卒業・修了学生の表彰の推薦について

資料7に基づき、表彰者を推薦することが提案され了承された。

◆教育研究評議会◆

第297回（2月20日開催）報告

[審議事項]

(1) 改訂版「福島大学教育改革ビジョン2019」について

教育担当副学長により改訂版「福島大学教育改革ビジョン2019」が説明され、質疑討論を行った。

夜間主での放送大学の活用について、基盤教育の開講数削減に伴うクラスサイズの増加について、「むらの大学」の内容について、など、何点かの質問があり、教育担当副学長からの回答があった。大学運営や学生にとって有益なものは、平成31年度入学生の年次進行にこだわらずに、前倒しできるものは行なって欲しいとの発言があった。教育改革の実施に向けて具体化させていくフェーズに入るが、丁寧な検討と説明を求める発言が複数あった。

「福島大学教育改革ビジョン2019」を除く第297回教育研究評議会報告と第105回運営会議報告は、次回の教員会議に延期した。